

4年生は社会科の学習で、『昔から今へと続く町づくり』として信玄堤の学習を行っています。昭和町は昔から釜無川の氾濫により、洪水の被害に悩まされてきた地域であり、現在でもハザードマップで浸水しやすい場所となっています。どのようにして昔の人々がこの地域を守ってきたのか、どんな願いがあったのかを学習しました。

6月15日には実際に校外学習に出かけて、石積出、榊形堤防、将棋頭、信玄堤、かすみ堤を見学しました。午前中は石積出で、積んである石の形が違うこと、実際の高さや長さを見て、土台がとても大切なことを学びました。また、3番堤の場所で、一番上の部分まで歩いて登る経験もしました。昼食はドラゴンパークで食べました。4年生になって初めて、外での昼食を楽しみました。午後は信玄堤に行き、聖牛や高岩の説明やおみゆきさんの由来、信玄堤の本当の場所などを歩いて見てきました。最後は、常永地区にあるかすみ堤公園から常永第一公園までを歩いて、当時はどのような形でかすみ堤があったのかを実感してきました。

この日は、歩くことが多くなりましたが、そんな中でも、成長した4年生は、しっかりとメモをとり、最後まで黙って話を聞く様子が見られました。講師のお話にも、子どもたちから自然と質問をしたり、話しかけたりして意欲的に学ぶ良い機会となりました。

～「洪水からくらしを守るための昔の人々の願いや努力について知ろう」～

(御勅使川と釜無川について)

